



## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日  
東

上場会社名 株式会社Amazia 上場取引所  
 コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良 TEL 03-6415-3435  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	757	0.9	△63	—	△60	—	△61	—
2025年9月期第1四半期	750	—	△114	—	△111	—	△115	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 △61百万円(—%) 2025年9月期第1四半期 △116百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	△9.29	—
2025年9月期第1四半期	△17.57	—

(注) 1. 2024年9月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,381	845	56.6
2025年9月期	1,461	907	57.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 782百万円 2025年9月期 843百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,076	8.2	△131	—	△137	—	△146	△22.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	6,757,800株	2025年9月期	6,757,800株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	180,504株	2025年9月期	180,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	6,577,296株	2025年9月期1Q	6,577,296株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び、業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2025」によると、2024年度の電子書籍市場規模は6,703億円と推計され、2023年度の6,449億円から254億円(3.9%)増加し、2029年度には8,000億円弱に成長すると予測されており、電子書籍ユーザーは、引き続き増加傾向にあります。

一方で、電子書籍市場の競争環境は厳しく、アクティブユーザー数が減少傾向にあることに加え、広告市況は軟調に推移しており、広告収益単価も低調に推移しています。

このような市場環境の中で、当社グループはエンターテインメント事業において、主力サービスである「マンガBANG!」の収益性の改善及びオリジナル作品の制作を強化するとともに、ITソリューション事業及び越境EC事業の拡大に向けた先行投資に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は757,529千円(前年同四半期比0.9%増)、営業損失は63,007千円(前年同四半期は営業損失114,961千円)、経常損失は60,910千円(前年同四半期は経常損失111,102千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は61,105千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失115,545千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (エンターテインメント事業)

「マンガBANG!」において、広告枠の増加及び周年イベントや様々なキャンペーン施策を行い広告ARPU、課金ARPUの改善に努めましたが、費用対効果を考慮して広告宣伝費を抑制した影響でMAUが減少し、結果として課金収益が減少しました。

一方で、将来の利益の源泉となるオリジナル作品(WEBCOMIC含む)の制作に引き続き注力した結果、既存巻の売上も増加するなど、マンガBANGコミックスの売上は好調に推移しました。また、2025年2月に開始した越境ECサイト「Fandom Tokyo」は、当第1四半期連結累計期間の売上高が80百万円を超えるなど、好調に推移しました。

この結果、売上高は733,150千円(前年同四半期比1.6%減)、セグメント利益は22,901千円(前年同四半期はセグメント損失21,382千円)となりました。

#### (ITソリューション事業)

SES(システムエンジニアリングサービス)事業については、積極的なIT人材の採用により、人件費等が増加しましたが、堅実に売上高も拡大しています。また、インターネット広告を商材としたSEOメディアでは、2025年9月にランク王株式会社と業務提携し、新たにエンタメ系情報サービス「マンガBANGマガジン」をリリースし、収益性の改善に努めて参りました。

一方で、オンライン診療支援サービス「ウィズマイメディカルオンラインクリニック」は、医療関係における広告掲載基準が厳しくなっており、事業拡大は困難と判断し、2025年11月にサービスを終了しております。

この結果、売上高は24,378千円(前年同四半期比355.7%増)、セグメント損失は5,448千円(前年同四半期はセグメント損失10,455千円)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,381,646千円となり、前連結会計年度末に比べ79,909千円減少いたしました。これは主に、商品が15,460千円増加した一方、現金及び預金が64,655千円、売掛金が42,929千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は535,648千円となり、前連結会計年度末に比べ18,804千円減少いたしました。これは主に、買掛金が12,332千円、未払金が8,233千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は845,997千円となり、前連結会計年度末に比べ61,105千円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が61,105千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表した通期業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、公表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	460,589	395,934
売掛金	501,597	458,668
商品	15,731	31,371
コンテンツ	28,973	29,563
未収還付法人税等	-	176
その他	129,485	139,063
流動資産合計	1,136,376	1,054,777
固定資産		
投資その他の資産		
敷金及び保証金	222,054	223,743
その他	113,125	113,125
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	325,179	326,868
固定資産合計	325,179	326,868
資産合計	1,461,555	1,381,646
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	177,490	165,157
未払金	156,573	148,340
未払法人税等	4,623	1,820
引当金	2,250	965
前受金	171,481	169,665
その他	31,034	38,698
流動負債合計	543,452	524,648
固定負債		
関係会社事業損失引当金	11,000	11,000
固定負債合計	11,000	11,000
負債合計	554,452	535,648
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	366,724	366,724
資本剰余金	363,010	363,010
利益剰余金	246,136	185,030
自己株式	△132,346	△132,346
株主資本合計	843,524	782,418
新株予約権	63,579	63,579
純資産合計	907,103	845,997
負債純資産合計	1,461,555	1,381,646

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年10月1日 至2025年12月31日)
売上高	750,617	757,529
売上原価	611,285	579,043
売上総利益	139,332	178,485
販売費及び一般管理費	254,293	241,493
営業損失(△)	△114,961	△63,007
営業外収益		
為替差益	2,853	1,898
受取手数料	264	98
その他	741	100
営業外収益合計	3,859	2,097
経常損失(△)	△111,102	△60,910
特別損失		
関係会社事業損失引当金繰入額	5,000	-
特別損失合計	5,000	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,102	△60,910
法人税等	195	195
四半期純損失(△)	△116,297	△61,105
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△751	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△115,545	△61,105

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△116,297	△61,105
四半期包括利益	△116,297	△61,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,545	△61,105
非支配株主に係る四半期包括利益	△751	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額については、該当がないため記載を省略しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2024年10月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	エンターテインメント事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	512,166	—	512,166	—	512,166
法人向け売上高	233,100	5,350	238,450	—	238,450
顧客との契約から生じる収益	745,267	5,350	750,617	—	750,617
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	745,267	5,350	750,617	—	750,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	745,267	5,350	750,617	—	750,617
セグメント損失(△)	△21,382	△10,455	△31,837	△83,123	△114,961

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△83,123円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2025年10月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	エンターテインメント事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	480,641	—	480,641	—	480,641
法人向け売上高	252,508	24,378	276,887	—	276,887
顧客との契約から生じる収益	733,150	24,378	757,529	—	757,529
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	733,150	24,378	757,529	—	757,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	733,150	24,378	757,529	—	757,529
セグメント利益又は損失(△)	22,901	△5,448	17,452	△80,459	△63,007

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,459千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前中間連結会計期間より、2025年2月に越境EC事業を開始したことを契機に、従来「マンガアプリ事業」としていた報告セグメントの名称を「エンターテインメント事業」に変更し、従来の「マンガアプリ事業」と越境EC事業を「エンターテインメント事業」の報告セグメントの区分に集約しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、株式会社リーデックスの全株式を取得し、連結子会社化することについて決議いたしました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社リーデックス
事業の内容	SES事業、受託開発等

## (2) 企業結合を行った理由

株式会社リーデックスは、2004年の創業以来、SES事業と受託開発を展開し、堅実な経営と確かな技術力で、大手企業から長期にわたる厚い信頼を得ており、システムの設計から開発・運用までをワンストップで行うトータルソリューションを提供できる技術力が強みです。

当社グループは、多角化戦略の一環として2024年3月に子会社Amazia Linkを設立し、SES事業に参入いたしました。積極的な採用活動によりエンジニア採用が進んだため、顧客基盤の構築が今後の課題でした。

今回の株式会社リーデックスと当社グループが緊密に連携することで、株式会社リーデックスが有する優良な顧客基盤の活用と互いの技術力を補完し合うことで、対応可能な技術領域を大幅に拡大いたします。それによって、多角的な提案と高度な技術提供を通じて、お客様の期待に応えるとともに、グループ全体の企業価値を最大化してまいります。

## (3) 企業結合日

2026年3月31日（予定）

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 取得する議決権比率

100.0%

## 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額は、相手先との守秘義務により、詳細な開示は差し控えさせていただきますが、公平性・妥当性を確保するため、独立した第三者機関によるデューデリジェンスを実施した上で株式価値算定を実施し、当事者間で合意した金額にてリーデックスの100%株式を現金対価で取得いたします。

なお、取得価額は当社の直近事業年度（2025年9月期）の末日における連結純資産の60%程度であります。また、最終的な取得価額は、株式譲渡契約書に定める価格調整によって変動する可能性があります。

## 3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 2,000千円

## 4. 発生したのれんの金額及び発生原因、取得日現在における取得資産及び引受負債の公正価値

取得資産及び引受負債の取得日の公正価値を算定中のため、現時点では確定しておりません。